

令和3年12月24日

「広島大学・学生発スタートアップチャレンジ」を開始
～ 今年度、5課題の提案を採択 ～

本事業は、本年10月22日に立ち上げた「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム（Hiroshima LOVE it Consortium）」事業の一つとして新たに開始したもので、広島大学に在籍する学生／大学院生の持つ、“自由”で“創造的”なアイデアや、起業してみたい！という想いを具現化する取組です。

25課題・計59人から申請があり、厳正な審査の結果、12月13日（月）に5課題を選定しました。今後、1課題あたり最大30万円まで活動費の支援を行い、「株式会社サムライインキュベート」のメンタリングの下、3月末に予定している成果発表会（Demo-Day）を目指して活動していただきます。

学生たちのアイデアが実務家との伴走により更に強固になり、行動力、強靭力、創造力等アントレプレナーシップに必要とされる多くの力が身につくことを期待しています。

本学では、次年度より全ての学生に起業家教育を受講させる予定としていますが、今回のチャレンジは、それらに加えて実践的な場を提供するものです。

引き続き、地域の皆様をはじめ様々な方の協力を経て、総合的な起業家教育を提供していきます。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

学長特命補佐（研究力強化担当）、准教授 小林遼平

TEL :082-424-4313

FAX :082-424-6189

広島大学・学生発スタートアップチャレンジについて

【概要】

| | |
|------------------------------|---------------|
| 11月1日～11月26日 | 公募実施 |
| 25課題、計59人の学部生/大学院生/留学生から応募あり | |
| 11月27日～12月3日 | 書面審査 |
| 12月7日 | ヒアリング審査(10課題) |
| 12月13日 | 5課題採択 |

【採択課題】

採択課題の事業名や概要は以下の通りです。地域密着型の課題からSDGsに寄与する課題まで、様々な事業を採択しました。

<採択事業名 1>

地方は宝の山！空き家を活用した住み込み型チャレンジショップ事業

地域活動団体 ”縁もゆかりも”

櫻井 紫 文学部 人文学科・フランス文学語学 3年(代表者)

宮本 桃江 文学部 人文学科・日本文学語学 3年

西田舞由子 文学部 人文学科・西洋史学 3年

伊達 成美 文学部 人文学科・文化財学 3年

櫻井 瑠太郎 文学部 人文学科・フランス文学語学 2年

空き家を活用し、学生が暮らしながらカフェなどにチャレンジできる「住み込み型チャレンジショップ」事業です。田舎に暮らしながら事業作りにチャレンジできる学生が増え、大学の学びと連動した社会実装の場を目指します。

<採択事業名 2>

学生向け高度カスタマイズ可能な記念映像制作サービス

康 凱翔 人間社会科学研究科 教育学プログラム高等教育学
博士課程1年(代表者)

葉 茜 人間社会科学研究科 教育学プログラム高等教育学 修士 1年

丁 秀玉 人間社会科学研究科 教育学プログラム高等教育学 修士 1年

劉 菡儀 人間社会科学研究科 教育学プログラム高等教育学 修士 1年

広島大学の卒業生の思い出を、様々な地域の風景写真等と併せて作り上げ、感動を呼び寄せかつSNSにもアップできるショート動画制作サービス事業です。

個人のライフイベント記念事業に対し、地域に密着したコンテンツをもとにしたビジネスであるため、最終的には地域活性化にも寄与します。

<採択事業名 3>

広大生の使わなくなった自転車を利用したシェアサイクル事業

西村 咲野 総合科学部 総合科学科 3年(代表者)

石戸 友菜 総合科学部 総合科学科 3年

平谷 佳子 総合科学部 総合科学科 3年

広大生が卒業などで使わなくなる自転車を回収/改修し、それらを活用するリユース・チャリ・シェア事業です。安易な大量生産・大量消費に対する反感から、個々人が中古品の購入や手持ちの物の修理・補修をより一般的な選択肢とする社会を目指します。

<採択事業名 4>

高校生・広島大学チャレンジツアー
～地方の高校生にも「大学の学び」を届ける～

治田 遥花 総合科学部 総合科学科 3年（代表者）
星岡 駿志 先進理工系科学研究科 物理学プログラム 修士1年

代表者の地元であり、人口最小県の鳥取県の高校生をめぐる大学選びの現状（身近に大学生や社会人の先輩がいない！コロナでオープンキャンパスに行けない！）に目を向け、広島大学を知ってもらうチャレンジツアーを行う事業です。現役大学生や「大学にいる大人」との交流を通して、地域に住む高校生が環境に左右されず、自分らしい進路を選び取ることができる社会を目指しています。

<採択事業名 5>

農産物出荷補助アイテム

呉 敬馳 先進理工系科学研究科 情報科学プログラム 修士2年（代表者）

じゃがいも、人参、オクラなど、ある一定の重さに手作業で毎回揃えて個包装に積んでいる中小規模の農家さんをターゲットに、“あっと驚く方法”で解決する事業です。日本の農家さんが、生き生きと楽しく過ごせる社会を目指しています。

<ヒアリング審査当日の様子>

書面審査を通過した申請者は、審査委員の前で5分間ピッチを行いました。



ターゲット層に提供したいサービス等を、審査委員の前で5分間ピッチをする学生達

ひろしま好きじゃけんコンソーシアム (Hiroshima LOVE it Consortium)について

産学官金がデジタルツールでつながることで、簡単・迅速に課題解決が可能となることを目指す次世代型のコンソーシアムです。

デジタルトランスフォーメーションを駆使し、「大学シーズと企業ニーズの迅速なマッチング」「産学協働による起業家人材育成・人材交流」「学生支援GAPファンド・フェローシップ支援」「起業支援・起業後支援」等を迅速かつ効果的に運用し、広島で地方創生のモデルケースをつくることを目的としています。

ひろしま好きじゃけんコンソーシアム Hiroshima *LOVE it* Consortium

大学の情報が知りたい!

女性起業家を支援したい!

自社の社員教育を支援してほしい!

次を担う若手を支援したい!

国の補助金を一緒に取りたい!

海外の企業とつながりたい!

大学と共同研究したい!

産学連携のノウハウを知りたい!

イノベーションを起こしたい!

大学とつながりたい!

色々な組織とつながりたい!

簡単・迅速につながる!

Slackで気軽に質問

学生特別インターンシップ

社員教育デジタルオンライン講義

大学出向・クロスアポイントメント

社会課題プロジェクトに共同参加

最新のビジネス・研究情報をゲット

複数の組織と大学で共同研究

SDGsプロジェクトに参加

ひろしま
好きじゃけん
コンソーシアム

DXでつなぐ

広島大学
学長
越智 光夫
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム
会長

広島大学
副学長(産学連携担当)
田原 栄俊
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム
副会長

株式会社Rejoui
代表取締役社長
菅 由紀子
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム
ダイバーシティ推進副会長

株式会社アスカネット
専務取締役CFO/公認会計士
功野 顕也
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム
副会長

グローバル連携

- ①県内最大規模のオープンイノベーションプラットフォームの提供
- ②大学の最先端オンライン授業の聴講が可能
- ③大学発ベンチャーに特化したチャンネルを設立
- ④「ひろしま大学応援企業」として特別傍聴券を配布、大学を起点として広く発信

<https://www.sukijyaken.jp>

HPから簡単に申し込みます
どなたでも申し込みます!